

第72回神奈川県理容競技大会要項一覧表 (令和4年5月17日)

全部門において競技会場での携帯電話の使用を禁止する。

※1～3部の上位3名を、神奈川県指定強化選手とし、選考会においては、

モデル審査でぬらします。但し、学生種目は除く。

大会要項(モデル審査・競技審査・仕上り審査)も県大会同様に行う。

部門	競技種目/競技時間	競技事項	審査要項(審査の基準)	モデル	出場資格・登録料
第1部門	<競技種目> フェード・フリースタイル 全国大会種目 <競技時間> カット・スタイリング 35分 (但し、開始25分以内にスタイリングに入っ てはならない)	<競技規定> ① カットは総体的に2cm以上行うこと。(但し、刈り上げ部分はその限りではない) ② モデルの骨格を考慮しバランスの良いフェードを施すこと。 ③ サイド、バック下部にはトリマー(シェーパー、レザーも可)を使用しコントラストの強い美しいグラデーションを表現すること。 ④ 仕上がりは、美しい色彩を主体とした、世界的なトレンドを感じさせる男性らしいフェードスタイルであること。 ⑤ バリアート、レザーアートは施さないこと(但しハードパートは可)。 ⑥ ヘアスタイルに合わせて衣装をコーディネートすること。 ⑦ 競技中のスタンドクランプ等の使用は認めるが、競技終了時には必ずテーブルに固定のクランプにウィッグを装着すること。(スタンドクランプは持参すること)。 ⑧ ウィッグにはボディーと衣装を装着すること。 ⑨ ウィッグのボディー、衣装の着用、仕上がり審査時の角度の調整等すべては、競技時間内に行うものとする。 ⑩ 競技中に時計(タイマー)を使用する場合は、アラーム等、音を出さないこと。 <用具> 自由 <整髪料> 自由 <禁止事項> ① 競技準備時間中及び競技終了後にモデルに触れること。 ② ヘアアクセサリ、つけ毛等をモデルに装着すること。 ③ カラー Sprey、カラーパウダー及びそれに類似するものを使用すること。 ④ 電気器具を複数台コンセントにつなぐこと。 ⑤ 競技中にアラーム等、音を出した場合は失格とする。	① モデルの骨格に合ったバランスの良いフェードが施されているかをみる。 ② サイド・バック下部にはトリマー(シェーパー、レザーも可)を使用したコントラストの強い美しいグラデーションが表現されているかをみる。 ③ 仕上がりは、美しい色彩を主体とした、世界的なトレンドを感じさせる男性らしいフェードスタイルであるかをみる。 ④ バリアート、レザーアートが施されていないかをみる。 ⑤ ボディーと衣装が装着されているかをみる。 ⑥ ヘアスタイルに合わせた衣装がコーディネートされているかをみる。 ⑦ 競技中にアラーム等、音を出した場合は失格とする。	① モデルはメンズウィッグ。(ウィッグは国産メーカーのものに限る・品番等は自由。) ② ヘアは総体的にプラント状が確認でき、2cm以上カットできるモデルであること(但し、刈り上げ部分の長さは1cm以上であること)。 ③ ヘアカラーは自由。 ④ ウィッグの底以外に、氏名等を買込まないこと。 ⑤ カット以外の事前処理は自由。	組合員及びその従業員である理容師とする。 登録料 5,000円
第2部門	<競技種目> レディースカット・トレンドリアクティブスタイル 全国大会種目 <競技時間> カット・スタイリング 35分 (但し、開始15分以内にスタイリングに入っ てはならない)	<競技規定> ① カットは総体的に2cm以上行うこと。 ② 活動的な印象を与える実用性の高いヘアデザインと、モデルの個性にあわせた表現がされていること。 ③ ヘアデザインを活かすハイトーンカラーを取り入れたヘアスタイルであること。 ④ ダメージを感じさせない質感の表現をすること。 ⑤ ヘアデザインに合わせたトータルコーディネートをすること。 ⑥ 競技中のスタンドクランプ等の使用は認めるが、競技終了時には必ずテーブルに固定のクランプにウィッグを装着すること。(スタンドクランプは持参すること)。 ⑦ ウィッグにはボディーと衣装を装着すること。 ⑧ ウィッグのボディー、衣装の着用、仕上がり審査時の角度の調整等すべては、競技時間内に行うものとする。 ⑨ 競技中に時計(タイマー)を使用する場合は、アラーム等、音を出さないこと。 <用具> 自由 <整髪料> 自由 <禁止事項> ① 競技準備時間中及び競技終了後にモデルに触れること。 ② ヘアアクセサリ、つけ毛等をモデルに装着すること。 ③ カラー Sprey、カラーパウダー及びそれに類似するものを使用すること。 ④ 電気器具を複数台コンセントにつなぐこと。 ⑤ 競技中にアラーム等、音を出した場合は失格とする。	① 活動的な印象を与える実用性の高いヘアデザインと、モデルの個性にあわせた表現がされているかをみる。 ② ヘアデザインを活かすハイトーンカラーを取り入れたヘアスタイルであるかをみる。 ③ ダメージを感じさせない質感の表現がされているかをみる。 ④ ボディーと衣装が装着されているかをみる。 ⑤ ヘアデザインに合わせたトータルコーディネートがされているかをみる。 ⑥ 競技中にアラーム等、音を出した場合は失格とする。	① モデルはレディースウィッグ(ウィッグは国産メーカーのものに限る。品番等は自由)。 ② ヘアは総体的にプラント状が確認でき、2cm以上カットできるモデルであること。 ③ 競技事項に定めるヘアカラーを施していること。 ④ ウィッグの底以外に、氏名等を買込まないこと。 ⑤ カット以外の事前処理は自由。	組合員及びその従業員である理容師とする。 登録料 5,000円

部門	競技種目／競技時間	競技事項	審査要項（審査の基準）	モデル	出場資格・登録料
第3部門	<競技種目> ワールドヘア in Japan 2022 「D`S」 全国大会種目 <競技時間> カット・スタイリング 35分 （但し、開始25分以内にスタイリングに入ってはならない）	<競技規定> ① カットは総体的に2cm以上行うこと。 ② 「D`S」が提案するダンディズム&セクシーが、モデルの個性に合わせて表現されていること。 ③ 前下がりのスタイルでパートからの立ち上がりのアップバンクが表現されていること。 ④ Dセクション（下部）はフォーマルを意識した上品な長さでダンディズムが表現されていること。 ⑤ Sセクション（上部）はレイヤーボブを生かしたセクシーなパーマが表現されていること。 ⑥ 「D`S」のデザインを活かすヘアカラーが施されていること。 ⑦ 「D`S」のコンセプトを取り入れたトータルコーディネートを行うこと。 ⑧ 競技中のスタンドクランプ等の使用は認めるが、競技終了時には必ずテーブルに固定のクランプにウィッグを装着すること。（スタンドクランプは持参すること）。 ⑨ ウィッグにはボディーと衣装を装着すること。 ⑩ ウィッグのボディー、衣装の着用、仕上がり審査時の角度の調整等すべては、競技時間内に行うものとする。 ⑪ 競技中に時計（タイマー）を使用する場合は、アラーム等、音を出さないこと。 <用具> 自由 <整髪料> 自由 <禁止事項> ① 競技準備時間中及び競技終了後にモデルに触れること。 ② ヘアアクセサリ、つけ毛等をモデルに装着すること。 ③ カラースプレー、カラーパウダー及びそれに類似するものを使用すること。 ④ 電気器具を複数台コンセントにつなぐこと。 ⑤ 競技中にアラーム等、音を出した場合は失格とする。	① 「D`S」が提案するダンディズム&セクシーが、モデルの個性に合わせて表現されているかをみる。 ② 前下がりのスタイルでパートからの立ち上がりのアップバンクが表現されているかをみる。 ③ Dセクション（下部）はフォーマルを意識した上品な長さでダンディズムが表現されているかをみる。 ④ Sセクション（上部）はレイヤーボブを生かしたセクシーなパーマが表現されているかをみる。 ⑤ 「D`S」のデザインを活かすヘアカラーが施されているかをみる。 ⑥ ボディーと衣装が装着されているかをみる。 ⑦ 「D`S」のコンセプトを取り入れたトータルコーディネートがされているかをみる。 ⑧ 競技中にアラーム等、音を出した場合は失格とする。	① モデルはメンズウィッグ。（ウィッグは国産メーカーのものに限る・品番等は自由。） ② ヘアは総体的にブラント状が確認でき、2cm以上カットできるモデルであること。 ③ 「D`S」が提案するパーマが施されていること。 ④ 「D`S」ヘアカラーが施されていること。 ⑤ ウィッグの底以外に、氏名等を買込まないこと。 ⑥ カット以外の事前処理は自由。	組合員及びその従業員である理容師とする。 登録料 5,000円
第4部門	<競技種目> メンズ・レディスフリー <競技時間> カット・セット 40分 但し、20分以内にセットに入ってはならない。 （合計40分）	<競技規定> ① スタイルは自由。 ② 刈り上げ部分を含めて2cm以上カットすること。 <用具> 自由 <整髪料> 自由 <禁止事項> ① フロンガス入りスプレーを使用すること（フロンガス以外は可）。 ② 髪飾り、アクセサリ、カラースプレーの使用。	① メンズ・レディスの良さがカット、ブローで表現されているか。 ② 時代に合ったデザイン表現であること。 ③ ヘアデザインを生かすカラー表現をみる。	① 男性・女性ウィッグ（種類自由） ② 最短部分で、2cm以上カットできる長さがあること。 ③ 薬液処理は自由。 ④ 過度のテーパーは禁止。 ⑤ 飾りは禁止。 ⑥ メイクは自由。 （モデル審査でぬらされる事を考慮）	組合員及びその従業員である理容師とする。 登録料 4,000円
第5部門	<競技種目> ブロースカット <競技時間> 30分	<競技規定> ① メンズウィッグによる基本ブロース。 ② 襟元にボカシをつくる。 <用具> 自由 ◎クリッパー（コード付可） ◎ドライヤー可 <整髪料> 自由。 <禁止事項> ① 競技準備時間中に整髪料を使用すること。 ② フロンガス入りスプレーを使用すること（フロンガス以外は可）。	① 基本のブロースの全体のシルエットと面の美しさをみる ② 後頭下部のボカシの処理をみる。 ③ 特に正面のシルエットのバランスの調和をみる。	① 男性ウィッグ（種類自由） ② 2cm以上カットできる長さ、6cm以上。 ※モデル審査では濡らさない。	組合員及びその従業員である理容師とする。 登録料 4,000円

部門	競技種目／競技時間	競 技 事 項	審査要項（審査の基準）	モデル	出場資格・登録料
第 6 部 門	≪競技種目≫ ジュニア部門・ クラシカルバック バリエーションヘア <全国大会時（10/17） 23歳未満対象> <u>全国大会種目</u> ≪競技時間≫ カット・スタイリング 40分 （時間配分は自由。）	≪競技規定≫ ① カットは総体的に2cm以上行うこと。 ② 伝統的なクラシカルカットによる美しい刈り上げとトップにはファッション性のあるデザインを組み合わせること。 ③ トップのデザインは自由。 ④ トップデザインやカラーリング等、バランスのとれたスタイルであること。 ⑤ ネープには、クラシカルな色彩のある美しい刈り上げ技術を表現すること。 ⑥ 競技中のスタンドクランプ等の使用は認めるが、競技終了時には必ずテーブルに固定のクランプにウィッグを装着し、仕上がり審査を受けること（スタンドクランプは持参すること）。 ⑦ ウィッグにはボディーと衣装を装着すること。 ⑧ ウィッグのボディー、衣装の着用、仕上がり審査時の角度の調整等すべては、競技時間内に行うこと。 ⑨ 競技中に時計（タイマー）を使用する場合は、アラーム等、音を出さないこと。 ≪用 具≫ 自由 ≪整髪料≫ 自由 ≪禁止事項≫ ① 競技準備時間中及び競技終了後にモデルに触れること。 ② ヘアアクセサリ、つけ毛等をモデルに装着すること。 ③ カラースプレー、カラーパウダー及びそれに類似するものを使用すること。 ④ 電気器具を複数台コンセントにつなぐこと。 ⑤ 競技中にアラーム等、音を出した場合は失格とする。	① 伝統的なクラシカルカットによる美しい刈り上げとトップにはファッション性のあるデザインを組み合わせているかをみる。 ② トップデザインやカラーリング等、バランスのとれたスタイルであるかをみる。 ③ ネープは、クラシカルな色彩のある美しい刈り上げ技術が表現できているかをみる。 ④ ボディーと衣装が装着されているかをみる。 ⑤ ヘアデザインと衣装があったものであるかをみる。 ⑥ 競技中にアラーム等、音を出した場合は失格とする。	① モデルはメンズウィッグ。（ウィッグは国産メーカーのものに限る・品番等は自由。） ② ヘアは総体的にブラント状が確認でき、2cm以上カットできること。 ③ ヘアカラーを施していること。 ④ ウィッグの底以外に、氏名等を書き込まないこと。 ⑤ カット以外の事前処理は自由。	全国大会当日（10/17）が 23歳未満 の組合員及びその従業員の理容師及び組合が認める理容師養成校の理容科生徒とする。 登録料 4,000円
第 7 部 門	≪競技種目≫ マスタースタイリスト アワード <全国大会時 10/17） 満40歳以上対象> <u>全国大会種目</u> ≪競技時間≫ カット、スタイリング 25分 （時間配分は自由。）	≪競技規定≫ ① カットは総体的に2cm以上行うこと。但し、もみあげは事前にカットできる。 ② ファッション性のある商業スタイルであること。 ③ 競技中のスタンドクランプの使用は認めるが、競技終了後には必ずテーブルに固定のクランプに装着し、審査を受けること。（スタンドクランプは持参すること）。 ④ メイク、アクセサリ、衣装等は商業スタイルにあったものであること。 ⑤ ヘアカラーを効果的に取り入れたスタイリングであること。 ⑥ ウィッグにはボディーと衣装を装着すること。 ⑦ ウィッグのボディー、衣装の着用、仕上がり審査時の角度の調整等すべては、競技時間内に行うこと。 ⑧ 競技中に時計（タイマー）を使用する場合は、アラーム等、音を出さないこと。 ≪用 具≫ 自由 ≪整髪料≫ 自由 ≪禁止事項≫ ① 競技準備時間中及び競技終了後にモデルに触れること。 ② カラースプレー、カラーパウダー及びそれに類似するものを使用すること。 ③ 電気器具を複数台コンセントにつなぐこと。 ④ 競技中にアラーム等、音を出した場合は失格とする。	① ファッション性のある商業スタイルであるかをみる。 ② ヘアカラーを効果的に取り入れたスタイリングであるかをみる。 ③ ボディーと衣装が装着されているかをみる。 ④ メイク・アクセサリ・衣装等が商業スタイルにあったものであるかをみる。 ⑤ 競技中にアラーム等、音を出した場合は失格とする。	① モデルはメンズウィッグ。（ウィッグは国産メーカーのものに限る・品番等は自由。） ② ヘアは総体的にブラント状が確認でき、2cm以上カットできること。 ③ ヘアカラーは黒・白・ブラウン・シルバー・ブロンドの中から最大で3色までとする。 ④ ウィッグの底以外に、氏名等を書き込まないこと。 ⑤ カット以外の事前処理は自由。	全国大会当日（10/17）が 満40歳以上 の組合員及びその従業員である理容師。 登録料 4,000円

部門	競技種目／競技時間	競技事項	審査要項（審査の基準）	モデル	出場資格・登録料
第 8 部 門	<競技種目> 学生種目 A ワインディング <競技時間> 30分 <競技開始の状態> 事前準備時間中（10分間）にウィッグの設置と用具の準備、水ぬらしコーミング およびブロッキングを行った状態から開始する。	<競技規定> ① モデルウィッグの毛髪の長さは、自由とする。 ② 指定の配列（バックスタイル・Cライン。サイドは横スライス）であること。 ③ 総体的にワインディングを行い、ロッドは1種類以上で60本以上使用すること。 ④ モデルウィッグの毛髪は、濡れていてもよい。 ⑤ 水ぬらしの水にリンス剤を入れて使用してもよい。ただし整髪料の使用は不可とする。 <禁止事項> ① モデルウィッグに印（点や線等）をつけてはならない。 ② モデルウィッグに薬液処理（パーマ・ヘアカラー等）を行ってはならない。 ※その他全国理容美容学生技術大会の競技規定に準じる。 <器具・用具> ① ワインディング用モデルウィッグはメンズウィッグを使用すること。またクランプ等、その他の必要な用具を持参すること。 ② モデルウィッグはプレカット済みのモデルウィッグで黒髪のものを使用すること。 ③ ペーパー（白もしくは淡色）、ロッド（改造ロッドは可）、輪ゴム（白）を使用すること。 なおロッドは現在市販されているものに限る。	① モデルウィッグの毛髪の長さは、自由とする。 ② 指定の配列（バックスタイル・Cライン。サイドは横スライス）であるかをみる。 ③ 総体的にワインディングを行い、ロッドは1種類以上で60本以上使用してあるかをみる。 ④ モデルウィッグの毛髪は、濡れていてもよいとする。 ⑤ 水ぬらしの水にリンス剤を入れて使用してもよいとする。 ただし整髪料の使用は不可とする。	男性ウィッグ使用。（種類は自由）	理容学校2年生 ・通信科2・3年生 （2021年5月現在） 登録料 なし
	<競技種目> 学生種目 B ミディアムカット <競技時間> 30分 （カット20分、セニングカット・整髪10分） <競技開始の状態> 事前準備時間中（10分間）にウィッグの設置と用具の準備、水ぬらしおよび分髪を行った状態から開始する。	<競技規定> ① 髪型は左7：3分髪によるミディアムカット。 ② 後頸髪際から1cm以上、クリッパーで2mmに刈ること。 ③ 整髪にはペースト状のヘアワックスを使用し、ソフトに仕上げること。 ④ セット・セニングカット・整髪を競技時間内にすべて行うこと。 <禁止事項> ① 規定以外の用具・整髪料の使用は禁止する。 ② 競技前のウィッグの毛髪に、水以外のものを塗布してはならない。 ③ ドライヤーの使用は禁止する。 ④ カット時間（20分）内においてのセニング鉋の使用を禁止する。 ⑤ セニングカット・整髪時間（10分）内においてのカット鉋の使用を禁止する。 ※その他全国理容美容学生技術大会の競技規定に準じる。 <器具・用具> ① クランプ、国家試験に必要なカット（梳き鉋を含む）用具・整髪用具を持参する。 ② ウィッグは、全国理容美容学生技術大会のミディアムカット部門で使用するものと同じとする。事前にプレカットを国家試験の規定で行い、オールバックで乾いた状態で持参する。	① 左7：3分髪によるミディアムカットであること。 ② 後頭部にクリッパー（2mm）が使用されている（1cm以上）こと。 ③ クリッパーラインの「ぼかし」、刈上げが十分に行われており、色彩に色むらがないこと。 ④ もみあげの「ぼかし」ができていないこと。 ⑤ 総体的な仕上がり（整髪の美しさ・ソフト感等）が綺麗であること。	男性ウィッグ使用。（種類は自由）	登録料 なし